

平成28年度第2回七尾市行財政改革推進委員会 議事録

日 時	平成29年 2月24日（金）午前10時30分～午前11時50分
場 所	七尾市役所 4階 401会議室
出席者	<p>【七尾市行財政改革推進委員】</p> <p>大松委員、川村委員、熊谷委員、藏委員、酒井委員、坂本委員、千場委員、橋本委員、濱委員、福田委員、清水委員、村田委員、元橋委員、森田委員（※欠席：楠委員）</p>
	<p>【事務局】</p> <p>岡野副市長、白田市民生活部長、津田健康福祉部長、木原産業部次長、栗津建設部長、浦辺教育部長、前畑議会事務局長、長門七鹿消防本部消防長、寺尾公立能登総合病院経営本部長、福島企画財政課長、奥村管財課長、松田企画財政課長補佐、山本管財課長補佐</p>
委員会における審議事項（質疑応答・意見等）	
委員	<p>1. 交替委員紹介</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>前回の委員会で、見直しが必要な公共施設について600余りもあるとの報告があり、大変大きな数だと感じた。見直しの方法はいろいろあると思うが、七尾市の財産であり、委員の皆さんの貴重なご意見をいただいてよりよい七尾市のこれからにつなげたい。今回は、個々の施設の管理方針について整理された個別計画の報告がある。審議の程よろしく願いしたい。</p>
委員	<p>3. 議事</p> <p>（1）前回委員会の主な意見について</p> <p>前回の委員会で出された主な意見に対する対応について、事務局より説明願う。</p>

事務局	<p>(資料により説明)</p> <p>—質疑なし—</p>
委員	<p>(2) 七尾市公共施設等総合管理計画に基づく個別計画について 七尾市公共施設等総合管理計画に基づく個別計画について、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>(資料により説明)</p> <p>—質疑・意見—</p>
委員	<p>中島武道館について、「除却」となっているのはなぜか。</p>
事務局	<p>昭和51年建築の建物であり、耐震基準を満たしていない。</p>
事務局	<p>現在、旧中島市民センターの裏手に体育館を新築しており、そこに武道館の機能を一部もたせる考えもある。</p>
委員	<p>能登島の農村公園トイレ4箇所について「解体予定」となっている。観光客が増えている状況もあると思うが必要ではないのか。</p>
事務局	<p>所管課において、農村公園でありほとんど利用がなく観光的要素は低いと判断している。</p>
委員	<p>個々の施設について、どのような判断基準をもって優先順位や管理方針を決めているのか伺う。</p>

事務局	<p>担当部局において、平成32年度までに実施するものについて優先順位の高いものから順に挙げてもらい、まとめたものである。</p>
委員	<p>担当部局でどのような基準をもって優先順位をつけて整理したのか、細かく説明できるようにしておいてもらいたい。</p>
委員	<p>今年度の総務部の主要な取組みの中で、公共施設等総合管理計画の個別計画について「2月にパブリックコメントを募集し、3月に策定する」とあったが、パブリックコメントは実施したのか。</p>
事務局	<p>本計画は内部管理計画という位置づけで進めており、今回は時間的余裕もなかったことから、パブリックコメントは実施していない。</p>
委員	<p>譲渡について、団体が法人化されていないと譲渡できない。先般、中島地区のある町会が地縁団体へ移行するためにどうしたらいいか市へ問い合わせたところ、「手引書がある」と渡されただけで説明等してもらえなかったとの事。結局自分で調べて大変苦労して手続きをしたと聞いた。すでに移行している町会の資料をベースに、市としてマニュアルのような資料を整えてもらいたい。譲渡を計画するのであれば、法人に移行しやすいように手続きをサポートするところまで考えてもらいたい。</p>
委員	<p>町会への譲渡について、土地・建物の取扱いや市税等についてどのようになるのか教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>基本的に、市で用意した土地に建っているものは建物のみの譲渡と考えている。ただし、例えばその建物の建設時に地元から寄付があった場合等は個別に協議することとなる。集会所の譲渡も少しずつ進め</p>

	<p>ているが、基本的には町会に法人格をとってもらい譲渡していくものであり、未登記の建物を市で登記してから町会に譲渡することは考えていない。固定資産税については、集会所のように住民が共用して使う建物については、税務課で減免申請することができる。</p>
事務局	<p>地縁団体への移行手続きの手引きは、担当の総務課で作成しており、少し対応が不十分だったと思う。確認し、指導していく。</p>
委員	<p>今から5年間の計画との事だが、実施時期が未定となっているものについては、平成32年度までに実施するという意味か。</p>
事務局	<p>学校教育施設で実施時期を未定としているが、平成32年度までの間において未定という意味であり、予算関係や他の調整を整えて実施していく。</p>
委員	<p>保育園は民営化ありきで進んでいるようだが、全体の計画はあるのか。</p>
事務局	<p>国の子ども子育て支援法が施行され、その中に民間活力を生かした保育をすることが謳われている。当市でも、健康福祉審議会にて比較的安定した運営が見込まれる園から民営化を進めてはどうかと考え方と計画をまとめ、地元協議等を進めているところである。今回の個別計画に挙がっている2園については、子供の数も比較的安定していることから、経営状況を考慮し、計画したものである。平成32年度以降は、この先行する2園の検証をしながら進めていきたいと考えている一方、公で守らなければいけないものは公で、という考えもある。</p>
委員	<p>袖ヶ江保育園に行っているが、行政から今のような説明は全く耳に入ってこず「市にお金がない」とばかり聞く。親の方々も不安に思っ</p>

	<p>ているだろう。それなのに、駅前のパトリア3階に4億円もかけて行政が入居する等、矛盾していると思う。</p>
事務局	<p>現場レベルでの説明に不足があることをお詫びする。公立と私立で同じ園児数を預かった場合の財政負担を考えると、公立はすべて市の費用負担となるが、民間の場合は国県から補助金が出るため、市としての一般財源が助かる形になる。その分、他の子育て支援に予算がまわせると考えている。</p>
事務局	<p>例えば、保育園を今度改築することとなった場合、公立は100%市が負担しなければならないが、私立であれば国1/2、市1/4、民間1/4として補助金が入る。市の財源が節約できた分を他の子育て施策に充てることができ、これからの方針として進めていかなければと考える。</p>
委員	<p>いいPARK七尾について、ケビン等を施設廃止するのか。補助金が入っている施設だと思うが支障はないのか。</p>
事務局	<p>ご存知のとおり、能越自動車道の開通により国道160号を通る車も少なくなり、利用客が大幅に減った。指定管理も難しい状況であり、施設としては廃止し道の駅の機能のみを残すこととしたい。</p>
委員	<p>和倉温泉観光会館について。お祭り会館への改修に向けた調査予定とあるが、観光客が和倉に集中することを心配している。もっと市内に人を呼び込むよう市内に作れないか。これはすでに決定事項なのか伺う。</p>
事務局	<p>産業部を中心に地元の方々と調整を進めている。年間を通じて七尾の祭りを見てもらえる施設ということで、誘客が多いところが一番い</p>

委員	<p>いのではないかと、和倉が適当ではないかと考えている。</p> <p>矢田郷公民館の取壊しについて。現在の調理室で震災食や介護食の教室を実施しており、今後の予定もたっている。取り壊されればサンライフプラザの調理室を使うことになるが、利用者が多く思うように予約がとれず、フォーラム七尾の調理室は若干不便さが伴う。住民が町会を越えてこのような場に出向く機会は貴重だろうし、施設が足りてない現状である。利用料の減免措置も含め、代替施設の紹介等、除却後の対応を考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>サンライフプラザについては、まずは公民館施設としての使用を優先するとして調整している。</p>
委員	<p>能登島の農村公園4カ所について。取壊し後の土地の管理は誰がするのか。例えば、町会に管理してくださいと言われてもそのままの状態ではとても管理できない。その場合は大木を伐採する等、管理しやすく整えてからにしてもらいたいと思うし、取り壊し後の計画があるのかを伺う。</p>
事務局	<p>取壊し後の計画は今のところない。地元と協議しながら進めたい。</p>
委員	<p>ごみステーションについて。例えば、町会に譲渡した後で雨漏り等の補修が必要になり、費用負担も町会任せにされては困る。譲渡する前に一定の補修を施してから譲渡してほしい。</p>
事務局	<p>合併前の田鶴浜と能登島は町で設置し、七尾と中島は町会で設置した経緯があり、均衡を図る目的で譲渡を目指している。譲渡にあたって現段階で修繕は考えていないが、今後町会の方々と協議する中で決めていきたい。</p>

委員	<p>市ウォーキング協会に携わっており、月に何度かウォーキングイベントを実施している中で、使えるトイレが少なく不便を感じている。市民や観光客向けのトイレの充実はどこが考えるのか。ここが使わせてもらえるというマップ等を情報提供してもらえればルート作成に大変役立つし、観光客にも便利ではないかと思う。</p>
事務局	<p>今後検討したい。</p>
委員	<p>上下水道施設について、全国的に老朽化のニュースも耳にする中で、七尾市全体としての計画はどうなっているのか。また今後心配はない状況なのかを伺う。</p>
事務局	<p>下水道統合の田鶴浜・中島地区については平成5年度から供用開始している。実際には節水化・人口減少等が重なり、計画に挙げている特定環境保全公共下水道に統合する方向で進めている。処理水量、人口等を勘案しながら他地区についても統合の方向で考えている。</p> <p>水道管の老朽化について、金沢市の例もふまえてアセットマネジメントでの現状把握や、今後の更新計画について検討しているところである。</p>
委員	<p>今回は建物に関しての計画だが、実際にはインフラが大きなウェイトを占めると思う。道路や橋を含めたインフラの長寿命化、廃止等についての今後の方針を伺う。</p>
事務局	<p>トンネルや橋については法令化され、5年に1度の法定点検を行う事となっており、道路等についても万全な体制を整えていかなければと考えている。点検結果等を見ながら計画に反映させていきたい。</p>

委員	<p>細口町はまだ下水道が整備されていないがどのような計画になっているか。</p>
事務局	<p>徳田地区については、合併処理浄化槽を整備する方向で進めていく。</p>
委員	<p>今年、北陸信越地区の青年会議所会員が1,000人規模で集まる会議が七尾で開催される。会議は和倉温泉観光会館の大ホールでも可能だったが、市内を周回してもらいたい意図からサンライフプラザで会議をし、懇親会は和倉温泉で実施することとした。大ホールを祭り会館に改修するという計画だが、県外の会員からは、近い距離で大規模の会議と懇親会ができる施設があるのは助かるし、貴重だという声も聞かれた。改修することでこのような強みがなくなることも懸念されるので、今後調査する中で参考としてもらいたい。</p>
委員	<p>基本調査とはどのような内容のものか。</p>
事務局	<p>祭りに携わる各団体等の意見もまだ聞いていない段階であり、これらの調整も含めて基本調査としている。</p>
委員	<p>資料1について。前回の委員会で、新たな地域づくりに関する取組みとして共助メニューの作成を進めるとの話だったが、その後どうなったか。地域は何をすればいいかわからないのが正直なところであり、テーマを与えないと何も動かない。メニューを数多く提案してもらいたいという思いである。</p>
事務局	<p>共助メニューは、昨年春から検討してきた結果、既存の事業で地域に担ってもらえるものを出すのがまだ難しいとの見解に至っている。しかし、来年度は除雪費の補助等、数としては少ないが設けたところである。来年度も内部会議は続けて行き、地域に示していければと思</p>

委員	<p>う。</p> <p>前回委員会で人口ビジョンについての質問があり、次回説明することであったが、どうなったのか。</p>
事務局	<p>「七尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」について、後日送付し、次回対応させていただく。</p>
委員	<p>この委員会に限らず、市で決まった事項について委員だけでなく町会長にも伝わるようにしてもらえれば市と地域との一体感が出ると思うのでお願いしたい。</p> <p>本日の委員会はこれで閉会とし、次年度以降またご協力をお願いする。</p> <p>－ 終了 －</p>